



ひろがる在宅医療・福祉統合ネットワーク
つながるまい津島(愛知県津島市)

津島市医師会副会長 安藤病院院長
河西 あつ子

津島市は こんなまち

津島市の概要

津島市

名古屋市

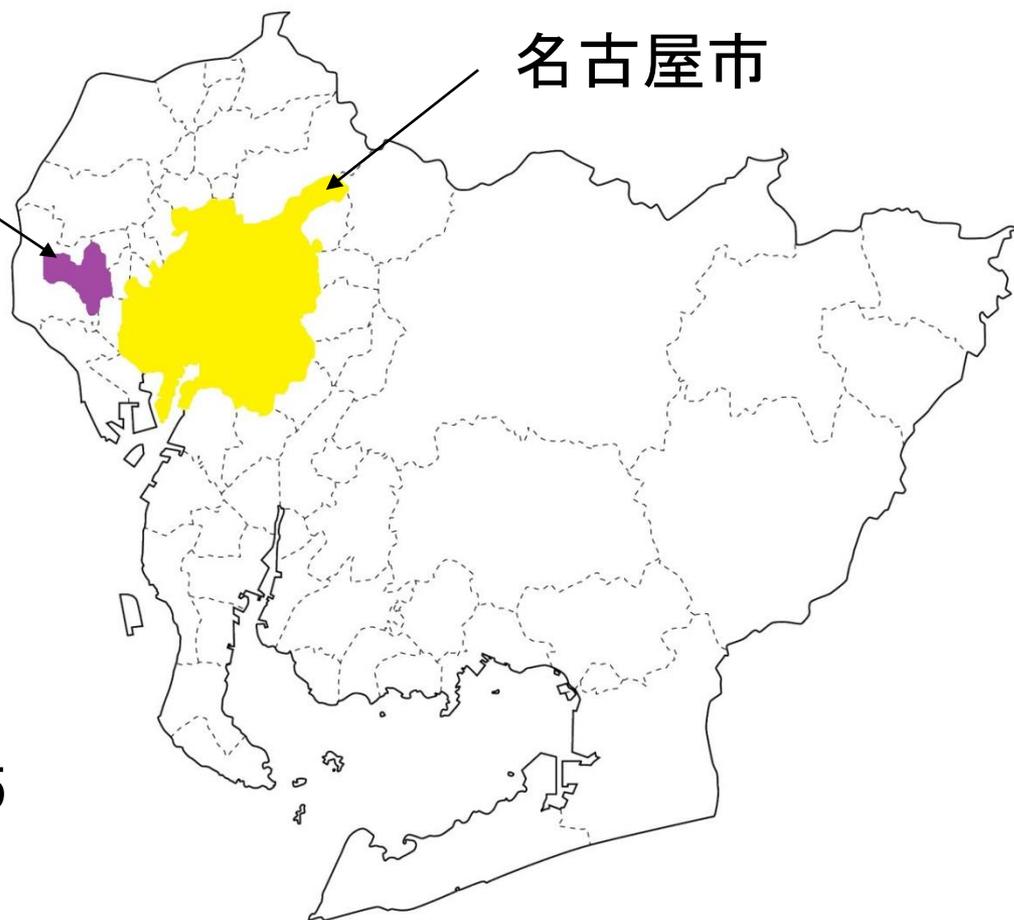
面積: 25.08km²

人口: 65,177人 世

帯数: 25,538世帯

(H25年12月1日)

高齢化率: 24.3% (H25
年4月1日)



2次医療圏図

平成 22 年 10 月 1 日現在



行政からの在宅医療への取組

津島市の社会資源 医療機関

平成26年1月1日時点

津島市医師会 42

津島市歯科医師会 34

津島海部薬剤師会 34

訪問看護ステーション 1

津島市民病院 440床(回復期・緩和ケア)19診療科

療養型病院 2 回復期リハ病院 1

在宅療養支援届出・診療所 5 ・病院 0 ・歯科診療所 3



行政からの在宅医療への取組

津島市の社会資源 介護サービス事業所

平成26年1月1日時点

居宅介護支援事業所	22
地域包括支援センター	3
訪問介護	14
訪問入浴介護	1
訪問リハビリテーション	2
訪問看護	1
通所介護	22
通所リハビリテーション	8
短期入所生活介護	5
短期入所療養介護	7

福祉用具貸与	3
特定施設入居者生活介護	2
小規模多機能型居宅介護	1
認知症対応型共同生活介護	3
介護老人福祉施設	3
介護老人保健施設	5
介護療養型医療施設	2
住宅型有料老人ホーム	4
サービス付き高齢者向け住宅	1
養護老人ホーム	1

津島市医歯薬介連携推進協議会

(通称:あんしんネットつしま(23年6月設立))

○ 目的

津島市における保健・医療・福祉サービスを中心とした地域連携のネットワークづくりを推進し、住みよい地域社会の実現を目指す。

○ 所掌事務

- ① 地域の医・歯・薬・介護の連携に関する事項
 - ② その他地域連携ネットワークづくり、地域包括ケアの推進に関する事項
- 

津島市医歯薬介連携推進協議会

(通称:あんしんネットつしま)

○ 組織

- ① 津島市三師会
- ② 津島市居宅介護支援事業者連絡協議会
- ③ 津島市民病院
- ④ 津島市
- ⑤ 津島市地域包括支援センター:事務局

○ 活動

- ① 定例会議(約**5**回/年)
- ② 地域連携フォーラム(**1**回/年)
- ③ 多職種による「わかる事例検討会」(約**2**回/年)
- ④ 連携コミュニケーションツール作成



津島市在宅医療連携推進協議会

○ 目的

市民ができる限り住み慣れた家庭や地域で療養ができるように、在宅医療の体制を整備するため、多職種協働による支援体制を構築し、医療と介護が連携し、包括的、継続的な在宅医療の提供を目指す。

○ 所掌事務

- ① 多職種連携の課題に対する解決策の抽出に関する事項
- ② 在宅医療従事者の負担軽減の支援に関する事項
- ③ 在宅医療に関する地域住民への普及啓発に関する事項
- ④ 在宅医療を担う人材育成に関する事項
- ⑤ 災害発生時に備えた対応策に関する事項
- ⑥ その他在宅医療連携の推進に関し必要と認められる事項



津島市在宅医療連携推進協議会

○ 協議会の委員(市長が委嘱)

- ① 津島市医師会
- ② 津島市歯科医師会
- ③ 津島海部薬剤師会
- ④ 津島市居宅介護支援事業所連絡協議会
- ⑤ 津島市訪問介護事業所連絡協議会
- ⑥ 津島市地域包括支援センター
- ⑦ 津島保健所
- ⑧ 津島市保健センター
- ⑨ 津島市民病院
- ⑩ その他、市長が必要と認める者



津島市在宅医療連携推進協議会

○ ワーキンググループの設置

(1) ICTワーキンググループ

電子連絡帳システムの活用方法を学習・研究し、運用後の分析・評価を実施する。

電子連絡帳システムの活用について、研究会・研修会を開催し、研究と普及促進を図る。

(2) 住民啓発ワーキンググループ

地域住民へ在宅医療を普及させるための方策や課題などを協議し、実行する。

社会福祉協議会などを中心に、生活支援ボランティア事業の立ち上げを協議する。

(3) 在宅支援病床ワーキンググループ





在宅医療支援病床

- 入院病床の確保及び負担軽減に向けた取り組み
 - ・登録制を用いた在宅医療支援
 - ・登録医の判断による登録患者の入院
 - ・院内外の連携・多職種協働による在宅への退院支援

 - 医療機関登録状況
 - ① 市内19件
 - 内科系14件、外科系3件、透析専門1件、リハビリ専門1件
 - ② 市外2件

 - 登録患者状況
 - ① 登録数22件
 - 男性12件、女性10件、平均年齢78.2歳
 - ② 内訳
 - パーキンソン病、多系統委縮症、ALS、レビー小体型認知症、アルツハイマー型認知症、心臓弁置換術、脳血管疾患など
- 

在宅医療支援病床

○ 支援病床利用状況

① 利用件数 **5件**

② 入院日数

平均:**30.6日** 最少:**15日** 最大:**48日**

③ 内訳

主傷病名	年齢	性別	目的	入院日数	退院先
パーキンソン病	73	女	食欲不振	15	自宅
レビー小体型認知症	69	女	褥瘡発生	15	自宅
結核性髄膜炎（疑）	82	男	熱源の検索	36	自宅
心臓弁置換術後	84	男	リハビリ指導	48	施設
多系統委縮症	77	男	褥瘡発生	39	病院



「つながろまい津島」ネットワーク利用の手引き

- 1 サービス運営者:津島市
 - 2 委託契約事業者:中部テレコミュニケーション株式会社
(CTC)
 - 3 諮問機関:「つながろまい津島」ICTワーキンググループ
 - 4 利用できる事業所
 - (1)医療提供事業所
医科・歯科の病院・診療所、薬局、訪問看護ステーション
 - (2)介護提供事業所
地域包括支援センター、居宅介護支援事業所
- 

「つながろまい津島」ネットワーク利用の手引き

○ 5 事業所責任者

- (1) 各病院・診療所: 院長、理事長など
- (2) 各薬局: 管理薬剤師
- (3) 訪問看護ステーション: 管理者
- (4) 介護提供事業所: 管理者、責任者など

○ 6 利用者

- (1) 各病院・診療所: 医師・歯科医師
- (2) 各薬局: 薬剤師
- (3) 訪問看護ステーション: 訪問看護師
- (4) 介護事業所: ケアマネージャーなど



「つながるまい津島」ネットワーク利用の手引き

○ 7 共有できる情報

(1) 患者属性

(2) 患者の受診時や治療歴の情報

(3) 患者の処方内容

(4) 患者の検査データ

(5) 介護に関する情報

(6) 主治医意見書

(7) 各(訪問看護師など)指示書

(8) 各(訪問看護師など)報告書 など



「つながろまい津島」ネットワーク利用の手引き

○ 8 役割

〈かかりつけ医〉 ※患者チームのリーダーになる
「つながろまい津島」同意書の保管

〈利用者〉 ※患者チーム内の情報のみ共有できる

- (1) **ID**／パスワードの管理
- (2) 媒体・機器の管理責任
- (3) 機密保持の責任
- (4) 報告義務



「つながるまい津島」

- ① オンライン開始・停止の申請
- ② 事故・システム上の欠陥

法令・ガイドライン遵守指導
(1回/年程度)

事故・トラブルなどの
報告と対応策の検討

津島市
サービス運用者

CTC
委託契約事務所

クラウドサービス
保守など

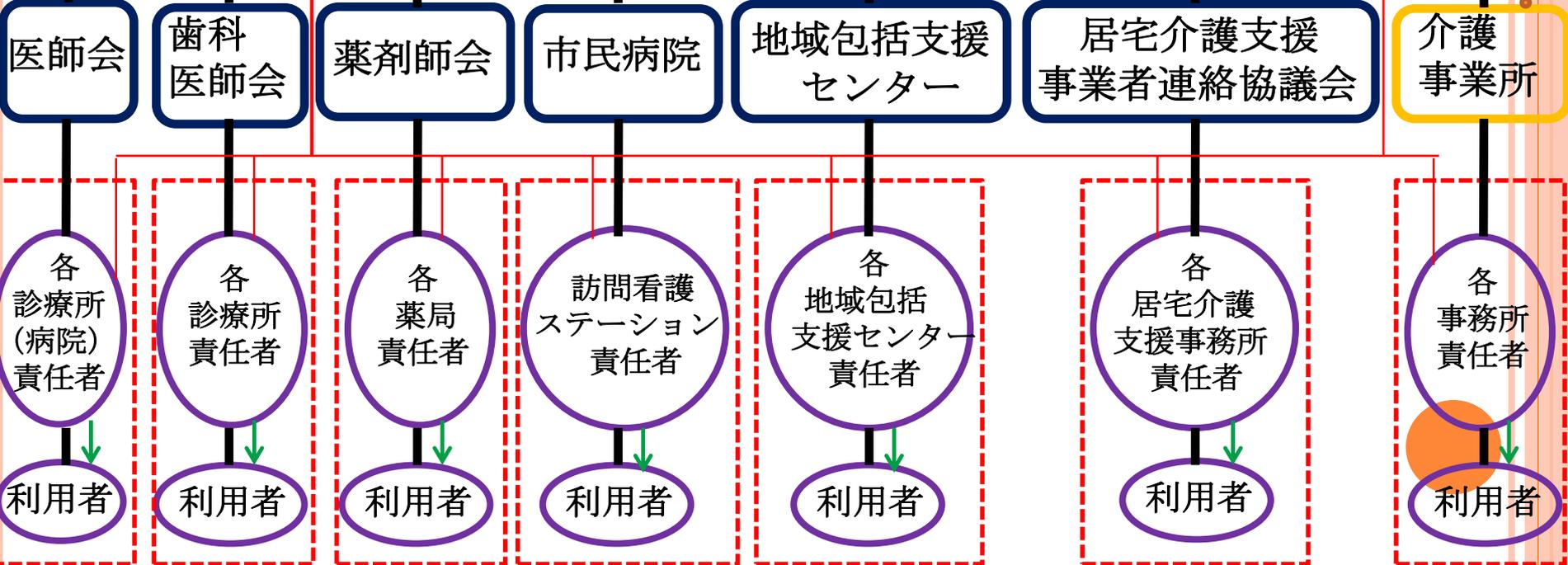
ポータルサイト管理
電子@連絡帳管理

臨時WG開催

ICTワーキンググループ
諮問機関

①

②



ネットワーク利用の流れ

患者への説明

かかりつけ医(医師・歯科)・訪問看護師・ケアマネージャーなど

同意書記載

あり

なし

患者登録

説明した人が入力

かかりつけ医が連絡する場合

ケアマネ・訪問看護師が登録する場合
(かかりつけ医(医科・歯科)の承認が必要)

ケアマネ・訪問看護師に連絡

関連職種に連絡 登録者

患者支援チーム結成

チームリーダー:かかりつけ医

(かかりつけ医(医科・歯科)、薬剤師、訪問看護師、ケアマネージャーなど)



ホーム

つながるまい津島とは

証明書のインストール手順

サポート窓口

ポータルページのアドレス

<http://p-tsushima.nu-camcr.org/>



お知らせ



利用開始 

利用には事前に利用者登録と利用証明書のインストールが必要です。施設登録から進めてください。既に施設を登録済みの場合は、施設管理者に利用者アカウントをご確認ください。既に登録されている方は、証明書の取得をしてください。

証明書インストール手順

証明書ダウンロード 

電子@連絡帳マニュアル

施設管理者メニュー

▶ 施設登録申請

▶ 利用者管理 

▶ 証明書管理 

電子@連絡帳の使い方 事前準備編

電子@連絡帳の使い方 基本操作編

